

# 市議会だより



2021年5月1日発行  
発行 仙北市議会  
編集 仙北市議会・  
広報編集 広報編集  
特別委員会



3月定例会、議員賛否  
予算常任委員会  
一般質問

P2~3  
P4  
P5~12

総務文教常任委員会  
市民福祉常任委員会  
産業建設常任委員会  
いきいき広場

P13  
P14  
P15  
P16

春爛漫 にこここども園の3歳~5歳児の元気なこどもたち



# — 3月定例会 —

第2回定例会が2月22日～3月19日まで開催され、令和3年度一般会計当初予算を含む51件の議案が審議されました。また、8名の議員が一般質問に立ち、市政の課題について議論が行われました。

## 令和3年度 一般会計予算の概要

### 収入

コロナ禍による個人市民税の減少などを見込み、市税収入は昨年度比4.8%マイナスの、24億8,182万円を計上。一方で、地方特例交付金は、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の新設により、7,560万円増の8,860万円となる。地方交付税は、普通交付税の合併算定替に伴う縮減等により、前年度より1億7,000万円少ない84億6,000万円を見込んでいる。好調が続いているふるさと納税寄付金は、前年度比8億円増の12億円となるが、角館庁舎建設事業が終了したため市債の発行額が大幅に減少した結果、一般会計総額は204億5,000万円（前年度比10億1,000万円 -4.7%）となった。

### 支出

働き方改革による会計年度任用職員の期末手当増額によって、人件費は前年度比1億8,602万円増の37億6,335万円を計上。また、普通建設事業費は庁舎整備事業や、昨年度予算化された植物工場建設に対する補助事業（現在は凍結中）が終了したこと等により、59.6%減の14億9,154万円となっている。ワクチン接種事業などの各種新型コロナ対策が盛り込まれているが、全体としては、コロナによる状況の変化やポストコロナ社会への転換にも即時対応できるよう規模を縮小した歳出予算となっている。

# 3,353万円を可決】 新型コロナウイルス積極対応を 特別会計・企業会計166億8,352万円

### 令和3年度 特別会計・企業会計予算（千円）

集中管理特会	……4,191,711	介護保険特会	……453,094	病院事業会計	……5,606,027
国民健康保険特会	……2,771,671	生保内財産区特会	……106,000	温泉事業会計	……119,901
同 神代診療施設勘定	……95,194	田沢財産区特会	……50,000	水道事業会計	……1,243,498
後期高齢者医療特会	……345,524	雲沢財産区特会	……6,435	下水道事業会計	……1,694,476

### 議決結果/議員賛否 令和3年 第2回 仙北市議会定例会(招集日:2/22 最終日:3/19)

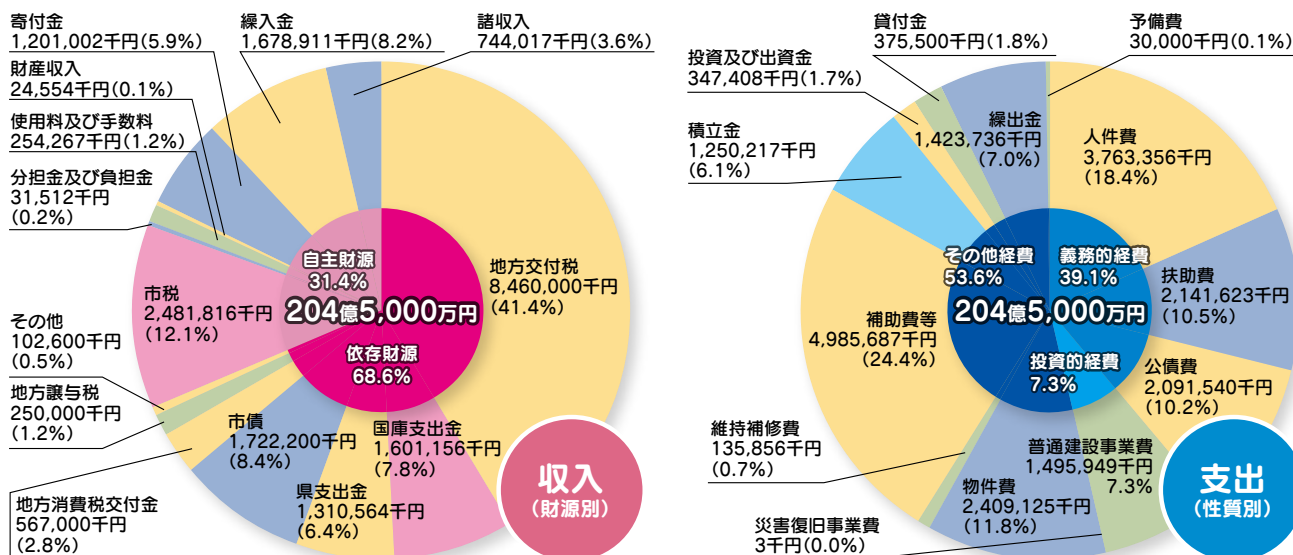
凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	件名	議決月日	議決結果	議員										公明党	共産党	無党派			
				蒼生会	小林幸悦	高橋豪	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	稲田修				伊藤邦彦	阿部則比古	荒木田俊一
議案第5号	仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第12号	令和3年度仙北市一般会計予算	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第14号	令和3年度仙北市国民健康保険特別会計予算	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第42号	仙北市固定資産評価員選任につき同意を求めることについて（倉橋典夫さん）	2/22	同意	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第45号	工事請負契約の変更について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議員提出議案第1号	仙北市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第1号	総合体育館建設に関する請願書	3/19	採択	反	反	賛	反	賛	反	反	反	賛	賛	反	賛	反	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

# 令和3年度 一般会計予算の内訳

令和3年度一般会計予算は、これまで続いて来た予算規模拡大の傾向から一転し、前年度比10億1,000万円減（-4.7%）の204億5,000万円が計上されています。新型コロナの影響により多くの経済活動が制限される中、市税収入をはじめとした自主財源の確保が一層不透明となり、市財政も非常に厳しい状況となっております。しかし、こうした中であっても、市民生活を守るため、コロナ禍における感染防止対策やワクチン接種事業の円滑な実施、また、落ち込みの激しい市内経済への対策やポストコロナ時代への対応など、未経験の非常事態と社会の大転換に立ち向かう積極的な取り組みが求められます。



## 【令和3年度予算総額371億 一般会計予算204億5,000万円】

### 新型コロナウイルス感染症拡大

～3月19日 緊急経済対策予算を可決～

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、3月19日、国からの臨時交付金等を活用したワクチン接種や追加経済対策に関する補正予算が提案され、全会一致で可決されました。内容は、ワクチン集団接種の体制拡充に関する予算や、市内経済の下支えを目的としたプレミアム商品券発行事業、事業者の雇用維持・確保に関する事業など多岐にわたります。市民生活と経済を守るため、迅速な事業の実施と確実に成果が発揮されるよう求めています。

#### 令和2年一般会計度補正予算(16号)、令和3年度一般会計補正予算(1号)の主な内容(千円)

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	28,666	ワクチン接種記録システム改修、コールセンター整備
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	38,885	ワクチン接種事業の医師・看護師等の人件費
仙北市タクシー事業者支援事業費補助金	1,900	タクシー事業者への支援(登録台数×50,000円)
仙北市自動車運転代行事業継続支援事業費補助金	800	運転代行業者への支援(登録随伴用台数×50,000円)
新型コロナウイルス対策生活応援事業費	94,200	子育て世帯、住民税非課税世帯に商品券配布
仙北市雇用促進助成事業費補助金	9,250	市内事業所が新規就職者を採用した場合の補助(就職者も対象)
仙北市民プレミアム商品券事業費補助金	98,000	経済対策として30%のプレミアム付き商品券を発行
仙北市プレミアム観光支援事業費	35,808	観光客向けのプレミアムお土産券を発行
仙北市伝統工芸品等導入支援事業費補助金	8,000	伝統工芸品の支援事業
観光トイレのコロナ安全対策事業費	4,801	感染防止策として、観光公衆トイレの手洗蛇口を自動水洗化
角館の桜まつり事業費補助金	3,179	桜まつりの検温や見回り警備の支援など安全対策費
新型コロナウイルス感染症対応宿泊施設受入態勢整備促進事業費	12,500	県で実施する事業への嵩上げ補助。新たな旅行スタイルに対応するため、宿泊施設が行う設備更新等に対する支援

## 本会議・予算委員会での質疑

### ●令和3年度水道事業会計予算

#### 令和2年度水道事業会計補正予算（第3号）

#### 「大規模断水の再発防止を求めろ」

**質問** 先般の大規模断水は市民生活に多大な影響を及ぼした。業務体制や再発防止策等について伺う。

**答弁** 角館地区での断水は、松木内川からの取水不具合によるもので、木々の枝などが取水管内部で一時的に詰まった可能性が考えられる。ポンプによる揚水等により対応を行ったが、水圧低下や濁り水が出るなど利用者に多大な迷惑をかけた。今後は、見回りを強化し、万一不具合が起こった際の初動を早めるなど対策を強化したい。各水道施設の維持管理や保守点検業務は市内3地区ごとに指名競争入札により民間委託している。委託業者は平日日中に各施設を巡回しているが、時間外の異常についても市と同様に対応している。

### ●令和3年度一般会計予算

#### 「新型コロナウイルス迅速なワクチン接種を」

**質問** ワクチン接種のスケジュールや接種体制（優先順位、場所、送迎等）について伺う。

**答弁** 開始時期はワクチンの供給次第だが、高齢者約11,000人への接種は3ヶ月を予定している。ファイザー社製のワクチンを21日の間隔をおいて2回接種する。最初の21日間で対象者の半数に接種し、次の21日目から2回目の接種を行う。これを2回繰り返す。その後同様の方法で、基礎疾患のある方と高齢者施設の従事者（合計約1,000人）に約1週間で接種を行い、次に一般の方々への接種となるが、期間は全体で6〜7ヶ月程度を要する予定としている。順番についてはコールセンターへの予約順となる。場所は田沢湖健康増進センター、角館交流センター、西木コミュニティセンターの3カ所を予定している。送迎は日ごとに重点地域を定めシャトルバスにより行いたい。

## 市議会議員定数 2名 削減 次期改選(令和4年5月)から定数16人へ ～ 3月19日 議員提出議案「仙北市議会議員の定数を定める条例」の改正を賛成多数で可決～

仙北市議会はこれまで議員定数の在り方について議論してきましたが、3月19日の本会議で定数削減に関する条例改正案が賛成多数で可決され、次期改選時より議員定数が現在の18名から16名へと2名削減されることが決定しました。議員定数については、「議会改革推進協議会」や「議会運営委員会」で慎重に協議の結果、市内の人口動態や経済情勢を勘案し、2名の削減を妥当とする答申が出されており、それを受け条例改正案の提案に至った次第です。賛成意見、反対意見の概要は次のとおりです。

### 賛成意見

- ◇市の人口は毎年約4～500人減少し続けている。現在の定数18名で4年経過後、さらに次期からも現行のままとした場合、8年間の人口減少数は4,000人とも推測される。こうした人口動態や総務省の定める類似団体の実態を勘案した場合、議会改革推進協議会の答申である定数2名減は妥当である。
- ◇定数2名減と政務活動費の廃止により、4年間で約4,800万円の費用削減となる。コロナ禍もあいまって地域経済は大変厳しい状況が続いているため、定数の削減はやむを得ない。

### 反対意見

- ◇定数削減により各地域から議員がいなくなり、市民の声が届きにくくなる懸念がある。
- ◇多様な人材が様々な視点で議論するためにも定数は多い方が良い。議会のチェック機能も弱まる。
- ◇定数削減により新たな挑戦者が立候補しづらくなるのではないか。若者や女性議員のなり手を増やすためにも間口は広い方が良い。
- ◇定数よりも報酬を削減するべきではないか。

### 議員定数2名削減案 本会議採決結果（議長は除く）

賛成	反対	結果
10	6	賛成多数で可決（賛否表は2ページに掲載）

## 定住・移住促進 若い世代や子供たちへの支援充実を

蒼生会 高橋 豪 議員



市長

### コロナ禍による社会ニーズを捉え、 取り組みを強化する

**新型コロナウイルス 今後の  
経済対策や大規模イ  
ベント開催の是非を  
問う**

**質問** 国の第3次補正予算を  
活用し新たな経済対策を実施  
すべきだが、市の考えを問  
う。また、「桜まつり」等の  
大規模イベント開催の是非に  
ついて伺う。

**答弁** 国の第3次補正によ  
り、新型コロナウイルス感染  
症対応地方創生臨時交付金が  
増額され、本市ではおよそ  
2億6,000万円の配分を  
受ける。それらを活用し、低  
所得世帯や児童手当受給世帯  
に対する支援や、タクシーや  
運転代行等の事業継続に対す  
る支援、移住・定住、雇用開  
発を支える助成、各資金の利  
子補給、伝統工芸品の購入助  
成、公衆トイレ等の手洗い非  
接触化対策、プレミアム商品  
券やお土産券の発行、宿泊施  
設のリモートワークの助成、  
公共交通のモデル事業の実  
施、桜まつりの安全対策対応  
を実施する。桜まつりについ  
ては、実行委員会を複数回開  
催しているが、安全対策を徹  
底し規模を縮小した上で開催

する方向である。感染状況を見ながらさらに検討を進めた  
い。

**総合計画（基本計画  
後期）中の子育て支  
援と定住対策を問う**

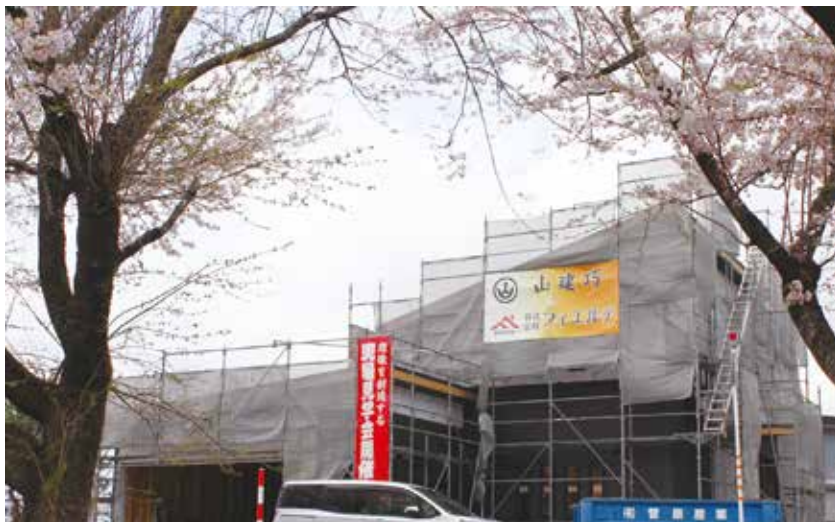
**質問** 1年で500名程度の  
人口減少が続く、出生数は  
100名にも満たない現状を  
危惧している。計画策定にあ  
たり、若い世代への支援や定  
住・移住対策についての考え  
を問う。

**答弁** 若者の流出は労働力減  
少に直結する重大な事案であ  
り、子どもの減少にもつなが  
る。今般のコロナ禍によって、  
首都圏では転出者数が転入者  
数を超える状況が続いてい  
る。この機会に若者の流出に  
歯止めをかけ、地元で暮らし  
やすくするためのまちづくり  
が、今まさに必要である。コ  
ロナにより企業の働き方改革  
が進み、地方にいながら収入  
を確保するスタイルが普及す  
ることが見込まれるため、こ  
うした社会ニーズを捉え、若  
い世代が本市で収入を得なが  
ら、子どもを産み育てやすい  
環境をつくることで流出を食  
い止め、同時に市外からの移

住者が仙北市での暮らしを選  
択できるよう取り組みを強化  
したい。

**質問** 若い世代に対する住宅  
取得助成制度の継続や、公園  
整備などによる住環境の向  
上、子どもたちのスポーツ振  
興と親の負担軽減のための小  
中学生スキー場リフト券の無  
料化、病児保育の早期実施等  
について考えを問う。

**答弁** 住宅  
取得助成制  
度は、議員  
の意見を踏  
まえ、新た  
に「若者マ  
イホーム取  
得助成金」  
制度を創設  
する。また、  
コロナ禍で  
野外活動が  
注目される  
中、インド  
ア、アウト  
ドアの両面  
において、  
公園等の遊  
び場や遊具  
の充実に努  
めたい。  
子どもの



■定住・移住促進 若者の住宅取得に対する支援制度充実を  
(市内で建築が進む新築住宅)

リフト券無料化については、  
来シーズンに向け田沢湖ス  
キー場や学校、教育委員会と  
協議を進める。病児保育は、  
いまだに実施できずにいる  
ことについて大変申し訳な  
い思いだ。令和4年度の開設  
に向けて計画を進めており、  
早期に実現したい。

(高橋 豪 記)



議員 八柳良太郎 蒼生会

**コロナ経済対策  
観光客向け商品券事業の再実施を求める**

市長

バランスやタイミングを見極め観光需要に応えたい

**コロナ禍での観光事業対策 成果と今後を問う**

**質問** 県事業ではあるが、プレミアム宿泊券の市内利用実績を伺う。

**答弁** 県に確認した結果、1月末までの集計で、約4億6,600万円分が利用され、これは県内トップである。利用人数については不明という事であった。

**質問** プレミアム飲食券の市内実績について、参加店舗、利用客数、利用金額について伺う。

**答弁** 市内での取り扱い施設数は、角館61店舗、田沢湖46店舗、西木5店舗で計112店舗である。利用金額は、1月末時点で約9,580万8,000円となっている。県全体の販売額は38億8,900万円から見ると、本市においての利用

率は2.5%となる。利用者数については集計が無いとの事であった。

**質問** 県予算を活用し、田沢湖・角館観光協会が昨年7月に実施した「まるごと商品券」事業の換金率について伺う。

**答弁** 3万枚が完売し、実際に利用された枚数は2万9,889枚である。1枚1,000円で利用出来るので、金額にすると2,988万9,000円となる。換金率は99.63%である。

**質問** 昨年12月末に実施された市の観光券事業について、①抽選方法、②抽選当選者数と市内・市外(県内)の比率、③当選券と現金引替え数、④実施結果による課題をそれぞれ伺う。

**答弁** ①はがきに書いてある内容をチェックし、有効・無効の判断後、シャッフルして50枚束ずつまとめ、その上で期間中の各到着日ごとに、その半数ずつを当選とする方法を取った。

②当選者数は4,600人で、仙北市内は21.5%、仙北市外(県内)は78.5%である。③既に観光券と引き換えられた組数は2,943組で、換券率は64%である。県北や沿

岸南部など遠方の換券率が低い傾向にある。

④課題として挙げられることは、往復はがきの使用方法の違いが多かったことや、制度が複雑になってしまったこと、抽選及び集計に時間を要してしまつたこと、観光施設で利用出来るという理解が市民の応募者に浸透出来なかつたことなどである。利用者・事業者ともに分かりやすい制度設計が重要であるという思いに立っている。

**質問** 秋の観光シーズン(9月~11月)にも、県内外の観光客を対象として、再度の「まるごと商品券」事業を実施してどうか。外貨獲得の他、商工業と一次産業との連携にも光が見えて来ると考える。見解を伺う。

**答弁** コロナ情勢がどう変化するか、様々な憶測の中で多くの事業を同時進行している状況にある。この後、国・県・市の経済対策等、様々な事業のバランスやタイミングを見極めながら必要な観光需要の喚起に取り組みしていきたい。

(田口寿宜記)



■コロナの終息を願い、沢山のお客様を待つ角館の桜

命の源とされる水道行政、  
市民の負託にどう応えていくか！



市民クラブ 伊藤 邦彦 議員

市長

角館地区断水という事案を教訓として対応強化を更に進める



■大規模断水 不具合が生じた取水口付近

断水の再発防止を

**質問** 1月25日、上水道の不具合により、角館地区3,000世帯が断水に見舞われた。また、これに限らず、市内各地で断水等の不具合が度々発生している。再発防止を含めどのような対策を取るのか。

**答弁** 今後の対策としては、悪天候後の施設見回りを強化し、監視機器の微細な初期変化をとらえ、初動を一層早める。今回の断水の要因は、取

水管内部の閉塞が挙げられるが、この教訓として、沈砂池への注水による逆洗浄効果や、必要な機材の種類、必要量、所有先の確認など、作業手順が明確化された。現在策定中の仙北市水道事業基本計画や令和3年度仙北市水道事業ビジョンを指針として、施設維持と未普及地の解消を進めなければいけない。大変困難な作業ではあるが、市民のライフラインを守るため取り組んでいかなければならないと考える。

火災防止強化を求め

**質問** 本市において、家屋火災が頻繁に発生している。火災発生要因を市民に周知し、注意喚起する必要があると考えるが、市内の火災報知器の設置率はどうなっているのか。また、冬期間の消防用水の確保は大丈夫か。

**答弁** 火災報知器の設置率は令和2年5月現在で、64%である。冬期間の消防用水は、各地域の農業用水利組合より協力を頂き確保している状況である。合わせて防火水槽や消火栓等の施設は、消防署や消防団と連携して除排雪作業を実施し、常に有事に備えた水利確保を行っている。

**答弁（危機管理監）** 火災の発表について消防本部では、出火場所の住所、通報時間、出火時間、鎮火時間、消防車出动台数までの情報は開示できる。それ以上となった場合は、情報開示請求により対応する形となる。発生原因については年に一度、火災救急救助統計をホームページ等で発表している。

SDGs 世界飢餓にどう向き合うか

**質問** 仙北市がSDGsに取り組んで時間がたった。先般、NHKスペシャルでは世界飢餓の危険性を伝えていた。この、世界的テーマにどう向き合い、どう成果を出そうとしているのか。

**答弁** SDGsにおける17のゴールの1つが「飢餓ゼロ」である。成果は市民一人ひとりが何をすべきか考え、行動することでしか現れない。市内小・中学生全員にSDGsバッジを配布したが、その後の子供たちの活動が素晴らしい。ポストコロナ時代の市の農業政策もSDGsの視点が有益である。あと10年で中国の人口14億人をインドを超える。中国の半分の国土しかないインドでは食糧難が予想される。今から世界は食糧危機に備える必要がある。SDGsはきれいなことではない。仙北市の行政を、まづここから始めていきたい。

(門脇晃幸記)



日本共産党 平岡裕子 議員

## 放課後児童クラブの 利用料金値上げの撤回を

### 市長 料金改定が妥当と考える

#### 子育て世帯に経済支援を

**質問** 経済負担軽減のため、国保税の均等割軽減措置を6歳から18歳までの方々に拡充できないか伺う。

**答弁** どうにか実現出来ないかと考えている。国は未就学児分の均等割額について、最大5割を公費で支援する制度を令和4年度から施行予定であり、財源は、軽減額の2分の1を国、4分の1ずつを県と市が負担する内容となる。公平性の観点から、一部の世帯だけでなく全世帯を対象に負担軽減する事を検討している。

#### 放課後児童クラブの利用料金値上げの撤回を

**質問** 令和3年度から放課後児童クラブ利用料が2,000円から3,000円に値上げになる。その理由と撤回の考えについて伺う。また、放課後児童対策事業運営委員会の構成員及び協議内容についても伺う。

**答弁** 消耗品、保険料、維持管理費、標準的な負担割合等から、料金改定が妥当と考え

た。構成委員は、放課後児童クラブ代表・社会教育委員・民生委員・各小学校の先生・教育委員等である。  
**答弁** (子育て推進課長) 運営委員会で料金改定の説明をしたが、反対の意見はなく、その場でご理解頂いたと認識している。

#### 高齢者の生活支援を

**質問** 補聴器助成制度実現のための調査方法についてや、助成制度の内容、また、聞こ



■楽しく有意義な放課後の時間(生保内小 白樺児童クラブ)

えの相談について伺う。

**答弁** アンケート調査を実施し、集計と分析・予算要求等を令和3年度に行い、4年度の助成制度創設を目指したい。補聴器を購入した費用の一部を助成する制度とし、対象者は、他の制度の適用を受けていない高齢者の方とする。聞こえについては、軽度から重度まで個人差があり、専門医の診断が必要であるため、申請は、専門医の意見書の提出もお願いする事になる。

#### 市の未来と市民の暮らしについて

**質問** スーパーシティ構想は市民にとって有益か疑問だ。使用される個人情報提供手段、及びサービス事業者は誰か、提供した情報は守られるか、かかる経費負担はどうかなるのかについて伺う。また、構想提出にあたり住民の思いをどう受け止めているのか。

**答弁** ネット上で買い物をするイメージであるが、連携事業者選定委員会で候補者選定をし、その事業者と市の構想について協議を進める。データ連携基盤事業者には個人情報

報関係法令の徹底遵守を求めている。個別分野のサービス、施設、インフラ整備等は関係省庁が自治体を支援することになる。構想について、若い世代と座談会を開催するなどしているが、今後NPO団体、企業等とも意見交換を続けたい。

#### マイナンバーカードについて伺う。

**質問** 本市の申請数と交付率を伺う。また最近、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)から交付申請書が届いて困惑している市民がいる。市長の見解を伺う。

**答弁** 申請数は1月末現在4,986人で交付率は18%を超えている。J-LISからの通知は、マイナンバーカードを健康保険証として使用できるようにするという事で未申請者に発送されている。課題も多いが、国の政策であり、行政のデジタル化は進んで行く。自治体としての責任をしっかりと果たしたい。

(熊谷一夫記)





市民クラブ 阿部 則比古 議員

これまでの門脇市政は  
すべて失敗だったのではないか

市長 市民の協力があって財政は大きく改善している

門脇市政11年4ヶ月  
の検証について

**質問** 門脇市政11年4ヶ月は問題が多い。財政を悪化させ、自らの発案によりトップダウンで職員に押し付けてきた事業が、全て失敗に繋がっている。財政運営、病院、地域運営体、夢牧場、司食品、玉川温泉の医療特区、統合庁舎、クニマス未来館、ドローン、ハレタス田沢湖など、私が全て反対した事業を振り返ってどう思うか。

**答弁** これまでの市政を全く独善的だと発言されたことは残念である。市政は市長一人で行えるものではない。私は、議員の方々、そして議員を通して市民の方々の意見に基づき政策を練るといふスタンスを貫



■現在は約40頭の牛を飼育している仙北夢牧場

てきた。これまで重要な施策は、特別委員会を設けて議会の判断をいただき事業を行ってきた。財政については、私が着任当時と現状を比較すれば、市民の皆さまのご協力により、公債費比率、積立金額、地方債現在高、純固定資産税や市民税徴収率などで大きく改善している。

の経費をかけて、成果として何が残ったのか。また、地域運営体は二重行政だと指摘してきたが、これまで4億円もの経費をかけて成果はあるのか伺う。

**答弁** 総合産業研究所については、稲作プラス二次加工食品などの研究に取り組み、今もポストコロナを見据えて農林商工部が受け継いでいる。地域運営体は、地域コミュニティの核をなすものであり、今後も地域のために活躍する団体だと思っている。

**質問** 仙北夢牧場の誘致についても私は反対したが、毎年、仔牛の購入に補助金を支出し現在破綻寸前となっている責任をどう取るのか。また、仙北夢牧場のために建設したと思われる堆肥センターについても、当初の経営計画には到底及んでいない。大赤字の状況をどうするのか。

**答弁** 仙北夢牧場は、秋田県との協同誘致事業である。現在、秋田県が再生の糸口を探っている状況である。堆肥センターは、良質な堆肥を生産できている。今年度は新型コロナウイルスの関係で市民に無償で提供し、良質さを実感していただいた。令和3年度には有

料となっても使っていただけける方向付けとなったと考える。

クニマス未来館に未来はあるのか

**質問** クニマス未来館は、たった一種類の魚の展示では魅力に欠け、人を呼べないし、リピート客も期待できない。未来のない未来館に5億円も支出するより、道の駅を建設するべきだった。私は、観光だけではなく、果樹、園芸、花卉栽培などの米に代わる農業にもっと力を入れて、産業構造の転換を図り、その販売拠点として道の駅が必要だと訴えてきたがどう思うか。

**答弁** 仙北市の街づくり全般に対して、総合政策審議会という第三者機関から、半分は出来ているとの評価をいただいている。これは、半分は出来ていないことであり、それをしっかり改善していくことが私の責務と思っ

(高橋輝彦記)



**シルバー人材センターへの委託業務  
管理は適切に行われているのか**

市民クラブ 稲田 修 議員

市長

**現在もしっかりと対応しているが、改めて指導管理を徹底する**

**シルバー人材センターへの委託業務  
適正管理を問う**

**質問** シルバー人材センターへの委託業務において現場でのチェックや指導管理は適正か。また、長年にわたる委託で慣れあい等が懸念されるが業務は適正に執行されているか。

**答弁** 現在シルバー人材センターに市が委託している業務は、庁舎や体育施設の施設・解錠などの維持管理、公園、野球場の草刈り、トイレの清掃、冬囲い設置・撤去等50件程ある。業務の指導・管理については、管理日誌等で随時確認している場合や、作業前後を現地で確認する場合、現地での安全指導をする場合など多種多様な対応となっている。連絡体制の整備はもちろん、作業後の写真や報告書等で完成検査を実施し、しっかりとした対応をしている。契約した業務の進捗や完成の確認などについては、改めて職員に指導を徹底する。

**市民体育館の早期改修を**

**質問** 市民体育館の傷みが心配されている。生保内体育館は雨漏りや床の損傷もひどいのが改善されるのか。また、各地の施設も老朽化が著しく、これから多くの修繕費を要すると思われ

るが、今後のあり方を問う。

**答弁** 生保内体育館の改修工事は屋根、トイレの改修、照明のLED化を予定している。床については今後検討していく。財源については生保内財産区から応援を頂くこととしているが、それに応えるような改修工事をしな



■生保内財産区から財源支援を受け改修する生保内体育館

ければいけない。生保内の他、神代市民体育館の遮蔽カーテン等の設置も考えている。その他施設についても、公共施設の個別計画を参考に、状況を見極めながら適切な管理を行いたい。

**質問** 屋根の改修に足場を設置するのであればかなり傷ん

でいる壁面を同時に工事する事が財政的にも効率的ではないか。

**答弁** 今後、修繕箇所等の詳細な設計業務が進むため、問題を共有させて頂きたい。

**公共交通の在り方を問う**

**質問** 高齢化による運転免許の自主返納や歩行困難による買い物弱者が多くなっている現在「地域交通の脆弱性」が市民から指摘されている。より有効な手段として特区を最大限活用し、地域運営体等を巻き込んだ救いの手法はないのか。

**答弁** 自分で外出すること、に困難を感じる人にとつて、使いやすい安全な移動手段を確保することが、これからの人口減少や高齢化社会において重大な地域課題と認識している。令和3年度、新たに地域公共交通計画を策定し、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組み。

(荒木田俊一記)

**防災・減災**  
**安心安全なまちづくりの考えは**



養生会 真崎 寿浩 議員

市長

**東日本大震災、土石流事故を経験し、災害に対する危機感の強い自治体と認識している**

**避難場所・避難所の現状と課題について**

**質問** 2月13日夜の地震は、平成23年3月11日の東日本大震災を思わせるような地震だった。指定されている市内避難所の中で、雨漏りやトイレの使い勝手が悪い施設も指摘されているが対応を伺う。

**答弁** 避難所となる学校の洋式トイレ化はスピードアップが必要だ。小学校が54%。中学校が36%まで洋式化率が進んでいる。不具合の調整を急がなければならぬ。

**答弁（教育長）** 小中学校のトイレ環境整備は、災害時にもとより、日常活動においても喫緊の課題である。市長部局とよく相談し、スピード感をもって進めたい。

**コロナ禍の避難所体制は万全か**

**質問** 現状について伺う。

**答弁** 昨年6月に感染症対策避難所運営マニュアルを策定し運営している。また、昨年8月には、桜木内小学校において、児童、保護者、消防関係の方々に参加し避難訓練を実施した。

**答弁（危機管理監）** 訓練で見えてきたことは収容人数である。予想していた人数の3分の1程度しか収容できない。パーティションは安定せず、簡易型の屋根のないテントが有効であると感じた。毛布など掛けるものがあっても敷くものがないと毛布を多く使うことになるため、ベッドはエアベッドが適していると感じた。

**備蓄品の数量と保管場所について**

**質問** 備蓄品の内容と数量や、どこに保管・管理されているかが見えることにより、市民の安心につながるかと考える。実情を伺う。

**答弁（危機管理監）** 備蓄品は避難所ごとには配備されており、全体的として数量は不足している。現在は、角館東地区公民館と田沢湖庁舎の倉庫に保管し管理している。今の体制で当分対処することになる。

**答弁** 必要数量の算定の仕方が難しい。使用

期限のあるものについては、できる限り有効活用することが前提となる。ベッドやパーティション等は今後購入することになっている。

**ハザードマップについて**

**質問** ハザードマップは身を守るためのガイドブックと考える。特に高齢者の方々への情報提供の充実を図るため、印刷物も必要ではないのか。



■備蓄品は災害対応に活かされているのか

**答弁** ハザードマップは令和2年度から更新作業に入っており、令和3年度中に冊子版を全戸配布する予定である。現在の電子データについても更新し、家庭でもホームページ上からダウンロード・印刷ができる仕組みとしたい。

**小規模農業者に対する支援策を**

**質問** 農地集約化が進む中、高齢化や担い手がなく離農せざるを得ない状況にあっても、小規模農業者に対する支援策によって営農は持続できると考えるが、見解を伺う。

**答弁** 農家の負担軽減策として、産地交付金の仕組みを変えながら仙北市重点品目への取り組みに対する手厚い支援を継続する。令和3年度からは、これに薬用作物も加えた。仙北市畑作等園芸等振興事業によって、畑作物や施設園芸などの新規作物や作付け拡大に取り組み農業者には、農業機械取得などの初期投資負担の軽減を図る支援を行いたい。

（平岡 裕子 記）



議員 幸 晃 脇 門 会 生 蒼

教員の労働環境改善はどうするのか

教育長

衛生委員会を組織し、  
快適な職場環境の形成に努める



■タブレット操作に取り組む児童の様子

コロナ禍の教育現場  
について

**質問** 文科省は学校側の求人情報を企業に提供するデータベースを開設したが、県・仙北市の取組はどうか。

**答弁** (教育長) 県教育委員会では本制度の活用は予定して

ないとの回答である。市としては、県教育委員会や市当局と連携して活用について検討したい。

**質問** 小学校5、6年生の教科担任制を令和3年度を目途に本格導入とあるが、仙北市の状況はどうか。

**答弁** (教育長) 教科担任制導

入のため、県教育委員会から教員を増員派遣してもらっている。今年度は角館小学校に1名、来年度は角館・白岩・松木内小学校に1名ずつ予定している。増員を受けていない学校でも学級担任同士が、それぞれの専門性を生かしながら教科を交換するなどして指導の充実を図る。

**質問** 小学校教員の確保と労働環境の改善が急務と言われているが、秋田県の状況、仙北市の実態はどうか。

**答弁** (教育長) 秋田県の公立小学校教員採用試験の志願者数は若干減少しているが、採用者数は増加しており再任用も含めると教員確保については心配のない状況である。また、労働環境については、県教育委員会から多忙化防止計画が示され、新年度から市内小・中学校を一つの事業所として捉え、衛生委員会というものをも25市町村に先駆けて組織する。産業医として先生1名を配属し、快適な職場環境の形成と長時間労働による健康障害防止の取組みを推進する。

**質問** 特別支援学級の対象となる児童生徒の数が増えているが備えは万全か。

**答弁** (教育長) 市内小・中学校では対象者が極端に増えている状況ではないが、県から特別支援学級1クラスに対し1名の教職員を配置して頂いている。また、通常の学級に在籍し、特別な教育的支援を必要としている児童生徒に対しては、特別支援教育支援員を小学校30名、中学校に5名配置し、学級・教科担任と連携しながら手厚い対応をしている。

**質問** 国は学校休校時にICTを活用し、子供たちに学びを保証できる環境の実現を目指すとしているが、市の学校現場へのICT技術者配置支援はどう進めるのか。

**答弁** (教育長) ICT技術者であるGIGAスクールサポーターを、昨年10月から専門業者に業務委託し、端末のセッティングや教職員対象の研修会等、各学校を巡回しながら支援に取り組んでいる。来年度も新しく赴任した教職員に対する運用方法の解説など定期的な支援を行う。

(武藤義彦記)

# 総務文教常任委員会

## 令和3年度一般会計予算 総務費 44億1,117万円 旧角館庁舎(東勝楽丁庁舎)解体に1億728万円

令和3年度の一般会計予算の内、総務文教委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。総務費は前年度対比で、プラス3億4,323万円(8.4%)と増額されておりますが、これは、ふるさと納税の寄付金の増加を見込んだことによるものです。

### 令和3年度一般会計予算 (総務常任委員会で審査された項目)

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億4,426万円	1億7,043万円	△2,618万円	△15.4%	議会運営に関する予算
総務費	44億1,117万円	40億6,805万円	3億4,312万円	8.4%	行政運営全般や企画制作等
消防費	8億9,778万円	10億7,254万円	△1億7,477万円	△16.3%	大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算
教育費	14億7,191万円	15億4,761万円	△7,570万円	△4.9%	小中学校や公民館等の予算
公債費	20億9,154万円	20億8,762万円	393万円	0.2%	借金の返済

### 令和3年度 一般会計予算の主な内容

公共施設等マネジメント事業費	1億2,241万円	旧角館庁舎(東勝楽丁庁舎)解体、旧角館病院土壌汚染調査などの経費
ふるさと納税ふるさと便事業費	7億6,290万円	ふるさと納税の寄付金を12億円見込んでの返礼品などに係る経費
第三セクター経営改革推進事業費	1,254万円	厳しい経営状況の三セクの経営診断をコンサルタントに委託する経費
秋田内陸縦貫鉄道(株)運営費	7,980万円	秋田県、北秋田市、仙北市の三者が負担している内陸線への補助金
秋田内陸線安全対策交付金	590万円	新型コロナによる収入減少のため、安全対策に係る経費を三者で負担
学校適正配置関係事業費	35万円	教育環境の在り方を地域の方々と共に検討するための経費

## ここが知りたい 議論のポイント

令和3年度一般会計予算の主な質疑

**旧角館庁舎などの解体は今後どう進めていくのか**

**質問** 公共施設等マネジメント事業費の内訳はどのようになっているのか。

**答弁** 旧東勝楽丁庁舎の解体に1億728万円。旧角館総合病院の土壌汚染概況調査業務委託に1,480万円。旧中町庁舎土地建物不動産鑑定業務委託に33万円である。

**質問** 旧東勝楽丁庁舎の解体費が、当初の見込みより倍増しているがなぜか。また、この予算には旧中町庁舎と西木公民館の解体費は含まれていないのか。

**答弁** 旧東勝楽丁庁舎の解体費については、令和2年度の実設計調査時にアスベストの含有が判明し大幅に増額となった。旧中町庁舎については、建物付きでの売買も検討していることから解体費は予算化していない。また、西木公民館の解体については、令和3年度には実施しないが早急に解体する予定である。

**第三セクターの経営改革は相当の覚悟を持って臨むべき**

**質問** 第三セクターについては、令和3年度も各施設で大規模な修繕などに多額の予算を計上しているが、

統合再編や施設の廃止についてはどう考えているのか。また、1,254万円を投じてのコンサルタント委託は、厳しい現実になることも予想されるが、大きな成果が得られるように相当の覚悟を持って臨むべきであるが考えを問う。

**答弁** 市としては、4社が単独で運営していくことは厳しいと考えている。今回のコンサルタントへの委託は統合再編も含めて、どのように進めていくかにも関わってもらう。経営改善効果が高いのであれば、施設の廃止もあり得ると思っている。

**内陸線の安全対策への補助金は今後も継続するのか**

**質問** 秋田内陸線安全対策交付金として、ついに安全対策にも補助金を出すようだが、内陸線関連の助成金は仙北市単独ですでに1億円を超えている。さらに安全対策にまで補助することになれば、今後の負担は計り知れないものになる。秋田県、北秋田市、及び内陸線との4者での充分な協議はしているのか。

**答弁** 新型コロナウイルスの影響で内陸線は前年比6割減の収入見込みであり、安全対策経費を補助することになった。コロナ禍によるものであり、継続的な支出とは捉えていない。令和3年度の安全対策費は、県が1/2を負担する。残り1/2の60%を北秋田市が、40%を仙北市が負担するという内容となる。

# 市民福祉常任委員会

## 令和3年度一般会計予算 民生費・衛生費 76億2,482円 新型コロナウイルスワクチン接種関連費用に7,693万円

令和3年度一般会計予算の内、民生費・衛生費が審査されました。地域密着型サービス施設等事業費補助金、介護施設開設準備経費等支援事業費補助金合わせて4,115万円、新型コロナウイルス感染症病原体検査費用助成事業費・新型コロナウイルスワクチン接種関連事業に7,693万円などが計上されております。

### 令和3年度一般会計予算 (市民福祉常任委員会で審査された項目)

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	増減比率	備考	
民生費	社会福祉費	28億811万円	28億2,996万円	△2,185万円	△7.7%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	16億2,128万円	16億8,923万円	△6,797万円	△4.0%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	5億1,394万円	6億398万円	△9,004万円	△15.0%	生活保護にかかる予算
	国民年金費	763万円	763万円	0	0.0%	国民年金事務に関連する予算
	災害救助費	97万円	113万円	△16万円	△14.0%	災害救援に関する予算
	計	49億5,192万円	51億3,193万円	△1億8,001万円	△3.5%	
衛生費	保険衛生費	6億2,975万円	5億4,434万円	8,541万円	15.7%	病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など
	水道費	1億6,728万円	2億9,634万円	△1億2,906万円	△43.6%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	10億9,718万円	9億5,000万円	1億4,718万円	15.4%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	7億7,868万円	7億7,399万円	47万円	0.1%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	26億7,290万円	25億6,467万円	823万円	0.3%	

### 令和3年度 一般会計予算の主な内容

誕生祝支給事業費	351万円	新生児の誕生を祝うため、誕生児童1名につき5万円を支給する。
地域密着型サービス施設等整備事業費補助金	3,360万円	西木地区へのグループホーム開設に関する補助金
生活保護費	5億700万円	生活保護法による扶助費の支給
新型コロナウイルス感染症病原体検査費用助成事業費	183万円	コロナの自費検査に対する助成金
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費	5,030万円	集団接種に関する医師や看護師の人的費や会場設営等の経費
通知カード・個人番号カード関連事務費	△50万円	マイナンバーカードに関するシステム費(令和2年度補正予算)

#### 令和2年度

#### 病院事業会計補正予算 医師就学資金の成果を問う

**質問** 医師等修学資金貸付金元利収入3,610万円について、市内病院に勤務して頂くことを返済免除の条件として貸付した就学資金であったが、返還される経緯を伺う。

**答弁** 貸与終了後、仙北市の病院ではなく、医学部生の地元である愛知県の病院に勤務するために返還となる。目的は大変残念な結果となった。市ではリスクを負いながらやってきた経緯もあり、適切に返還されるよう対応したい。

地域密着型サービス施設 質問 補助金交付の相手方はどこか。また、決定までの流れについて伺う。

答弁 西木地区の事業者からグループホーム開設の申請が出されているが、詳しい場所や設計等は示されていない。この度は県でも1事業者分を予算措置している。流れとしては、大曲仙北広域介護保険事務所において第8期の計画に基づく運営協議会を8月から9月頃に開催し、その中で、令和3年度の施設整備計画が審議される。その後、事業者から市に対し補助金

マイナンバーカードを健康保険証として使う手立ては(令和2年度一般会計補正予算) 質問 健康保険証として使える仕組みはどうなっているのか。

答弁 マイナンバーカードを作っただけでは、すぐに保険証とはならない。カードの初期設定を行う必要がある。顔認証読み取り機にカードをかざし、マイナンバーの顔写真と一致していることを確認することになる。市内で利用できるのは、市立角館総合病院、市立田沢湖病

令和3年度  
一般会計予算の主な質疑

ここが知りたい  
議論のポイント

申請が提出され、それを受け市は県に補助金を申請する。補助金が決定されれば施設の建設に取り掛かることができる。年度内開設はタイトなスケジュールとなるため、あらかじめ予算措置をしておくことになる。

# 産業建設常任委員会

## 令和3年度一般会計予算

### 農林水産業費 11億2,259万円 前年比43%の減額

令和3年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産費、商工費、土木費などの予算が審査されました。特に農林水産費は前年度対比で、マイナス8億5,686万円(43%)と減額幅が大きくなっておりませんが、これは、黒沢工業団地に誘致予定の植物工場事業（現在凍結中）が終了したことによるものです。

#### 令和3年度一般会計予算（産業建設常任委員会で審査された項目）

項目	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較	増減比率	備考
労働費	6,293万円	6,572万円	△28万円	△0.4%	シルバー人材センター補助金など
農林水産業費	11億2,259万円	19億7,945万円	△8億5,686万円	△43%	農林業、畜産、漁業関係の予算
商工費	8億2,373万円	8億8,041万円	△567万円	△0.6%	商工業振興や観光振興の予算
土木費	17億6,938万円	18億6,158万円	△922万円	△0.5%	道路改良及び他会計補助金等

#### 令和3年度一般会計予算の主な内容

メガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金	1億3,200万円	ネギ栽培のメガ団地への補助（神代地区 2法人・8.5ha）
花葉館施設整備事業費	2,091万円	花葉館の工事費と設計委託料及び厨房の冷凍冷蔵庫の購入費等
仙北ニューネイチャーツーリズム造成事業費	500万円	コロナ禍におけるアウトドア観光事業費
地域ブランディングによる観光まちづくり事業費	2,049万円	将来に向けた地域まちづくり6項目事業費
雪寒地域建設機械整備費	6,140万円	除雪ローダー14t級2台の購入費
道路新設改良費	6億9,819万円	交付金を活用した市道の道路改良事業費

#### 「請願第1号 総合体育館建設に関する請願書」を採択

【請願理由】かねてより田沢・生保内地域の住民総意により要望していた、生保内武蔵野地内への「総合体育館」建設は地域住民の悲願である。更なる観光関連産業の発展に寄与するものと確信する。

【審議内容】建物や予算の規模、財源などを含め慎重に審査する必要があるため、継続審査にすべき、とする意見と、住民の意思を尊重すべき、とする意見が出された。採決の結果、賛成多数により採択すべきものと決定した。

委員会採決結果（委員長は除く）

賛成	反対	結果
3	1	採択

DMO取り組みは質問DMO本登録に向けた取り組み状況はどうなっているのか。

園芸メガ団地の内容について  
質問 農林水産業費における、メガ団地等大規模園芸拠点育成事業費補助金の事業内容について伺う。  
答弁 神代地区の2法人が、8.5haにネギを栽培する計画である。税込の総事業費は、1億9,660万2,750円、法人負担は約6,000万円ほどである。主に、トラクター、育苗ハウス、暖房機などで、50万円以上は国の補助で、50万円以下は県の補助となっている。2法人ともネギの栽培は初めてなので、JJAの指導の元取り組みたい。市としても、今後の機械導入等に対し有利な制度の導入指導を行いながら支援していく。

ここが知りたい  
議論のポイント  
令和3年度一般会計予算の主な質疑

道路維持や各種愛護団体について  
質問 土木費における、道路維持や各種愛護活動についてどのようになっているか。  
答弁 市道は例年になく状況が悪い。随所でひび割れや穴などの被害が発生しており、除雪費の一部を活用し早急に修繕を行うこととしている。また、愛護活動については、構成員の高齢化が顕著であり、引き続き情報を集め対応していく。

答弁 令和2年度、男鹿がDMO本登録になったが、その要因の一つが、観光動態調査を継続していたことである。観光庁の考え方としては、コロナによる観光客の落ち込みは全国同じであるが、減少時も継続調査をすることにより、その後の対応も出来るとの考えであった。本市が本登録されなかった要因は、データが少なかったことが大きい。今、観光動態調査についてあらゆる角度で実施し、精査して本登録に向けて取り組む。

訂正とお詫び

仙北市議会だより No.61 2月1日発行 P15 旧石黒（恵）家公開事業費について、記載内容に誤りがありました。下記のように訂正してお詫び致します。

質問 石黒（恵）家について基金はどれくらい残っているか。また今後の活用と入館料について伺う。

答弁 基金は今回繰り入れた残高が約565万円となる予定である。入館料については、今後も徴収しない方針であるが、部屋利用にかかる料金は基本的に有料である。減免により無料となる場合もあるが、市民に有効に活用して頂きたい。

## いきいき広場

# 祝 アルペンスキー世界選手権出場 世界ジュニア選手権 U-18 の部優勝

角館高校スキー部卒業生  
(現 日本体育大学体育学部 1年)  
**水谷美穂選手**

今回の「いきいき広場」では、3月まで角館高校スキー部で活躍し、アルペンスキー世界ジュニア選手権 U-18 の部で見事優勝に輝いた、水谷美穂選手（現在は日本体育大学体育学部 1年）をご紹介します。

3月の取材時、水谷選手は海外遠征中のため直接お会いすることははかないませんでした。本人からメッセージを頂戴することができました。今後の更なるご活躍を願い皆様と一緒に応援したいと思います。

### 今シーズンを振り返って

角館高校 3年 スキー部 水谷美穂

今シーズンは、全日本チームとして8月下旬からヨーロッパに渡り、シーズン中は合宿や大会を転戦しました。コロナの影響で先行きが見えない不安と、自分もいつコロナに罹ってもおかしくない状況の中で活動している事に複雑な気持ちにもなりました。それでも感染対策をしっかり行い、1日1日を大切に過ごしました。ヨーロッパでの生活に、初めは慣れないことばかりで悩んだり落ち込んだりしましたが、2月イタリアで開催される世界選手権へ出場できることが決まり、とても嬉しく思うのと同時に、今までに感じたことのないワクワク感と緊張感がありました。スタート台に立った時は、脚に力が入らなかったり、頭が真っ白になったり、味わったことの無い緊張感でいっぱいでした。結果は残念ながら途中棄権となってしまいましたが、この残念な経験を生かし、技術面やメンタル面を鍛え、次のビックイベントに備え練習に励みました。その後は、3月上旬ブルガリアで開催された世界ジュニア選手権の U-18 の部で優勝することができました。大学生も含めた総合 U-21 の部ではトップと僅差だったため、戦えるという手応えを得て、来年に繋がる良いレースとなりました。3月中旬、今シーズン最終戦のロシアで開催されたコンチネンタルカップでは、大回転で種目別優勝を獲得し、来シーズンのワールドカップ個人出場権利を得て、戦うための土台を確保することができました。長いシーズンでしたが、このように活動出来ているのも仙北市民の皆様を始め、角館高校の皆さんの応援、先生方やスキー部後援会のご支援があつてのことだと感謝しております。次のビックイベントである来年2月の北京オリンピックに出場できるよう決意を新たにしているところです。今後とも応援よろしくお願ひします。

令和3年3月



アルペン世界選手権 混合団体での水谷美穂選手＝イタリア・コルティナダンペッツォ  
(写真提供：ゲッティ/共同通信イメージズ)

### 水谷美穂選手プロフィール

- ・平成15年1月生まれ
- ・長野県 木曾町立開田中学校 出身
- ・全国総合体育大会 中学校スキー大会 回転・大回転 優勝
- ・世界ジュニア選手権 U-18 優勝 などの戦歴多数
- ・全日本スキー連盟競技本部強化指定選手



世界ジュニア選手権 U-18 表彰式  
金メダルの水谷選手（中央）＝ブルガリア・ Bansko

記事の掲載に関して角館高校スキー部部長、藤木剛先生より多大なるご協力を頂き心から感謝申し上げます。

※ 紙面の都合上、今回の「編集後記」は割愛させていただきますのでご了承願ひます。